

2024年度 愛知学泉大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|-----------|--|------|------------------|--------|-----|--------|---------|
| 330422092 | 生活科教育法 Methods in Teaching Life Environmental studies | 平田幸男 | ✓ | 専門 | 2 | 選択 | 2後期 |

科目の概要

この科目では、学習指導要領の精読を通して、指導計画の作成及び学習指導、評価のポイントや、合科的・関連的指導及びスタートカリキュラムのあり方について理解する。また、学習指導案や教科書の分析を通して、生活科の学習指導を行う上で、どのようにこどもの学習状況を見取るのかについて考えを深める(DP2)。そして、特別課題への取り組みを通して、自ら必要な情報を集めたり思考錯誤したりして、自分の思いや考えを表現する力を養う(DP1・DP3)。さらに、グループワークに取り組むことで、知識を活用してグループで協働的に課題を解決する力を養う(DP1)。

自身の20年以上の小学校教員の経験や、生活科・総合的な学習に関する研究からの知見をふまえて、受講生が生活科における学習指導や評価のあり方について理解することを通して、こども理解を深められるように講義します。

| 学修内容 | 到達目標 |
|--|--|
| ① 学習指導要領に示されている指導計画の作成及び学習指導、評価のポイントや、合科的・関連的指導及びスタートカリキュラムのあり方について理解する。 ② 学習指導案や教科書の分析を通して、生活科の学習指導を行う上で、どのようにこどもの学習状況を見取るのかについて考える。 ③ 特別課題への取り組みを通して、自ら必要な情報を集めたり試行錯誤したりして、自分の思いや考えを表現する。 ④ 知識を活用してグループで協働的に課題を解決し、その成果を発表する。 | ① 学習指導要領に示されている指導計画の作成及び学習指導、評価のポイントや、合科的・関連的指導及びスタートカリキュラムの在り方について理解することができる。 ② 学習指導案や教科書の分析を通して、生活科の学習指導を行う上で、どのようにこどもの学習状況を見取るのかについて考えることができる。 ③ 特別課題への取り組みを通して、自ら必要な情報を集めたり試行錯誤したりして、自分の思いや考えを表現することができる。 ④ 知識を活用してグループで協働的に課題を解決し、その成果を発表することができる。 |

| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | |
|---------------------|---------------------------|--|
| 前に踏み出す力 | 主体性 | ・授業内容を進んで理解しようとし、グループワークで自ら発言をすることができる。 ・特別課題について主体的・能動的に取り組み、レポートや動くおもちゃを作ることができる。 |
| | 働きかけ力 | |
| | 実行力 | 特別課題において、自分の考えや思いを伝えたり、試行錯誤したりすることに粘り強く取り組むことができる。 |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 特別課題において、自分に必要な情報や材料は何かを考え、収集することができる。 |
| | 計画力 | 特別課題において、見通しをもって計画的に取り組むことができる。 |
| | 創造力 | 特別課題において、自分の思いや考えを具現化するための方法を考え、行動することができる。 |
| チームで働く力 | 発信力 | 自分の思いや考えを、グループや全体に対してわかりやすく伝えることができる。 |
| | 傾聴力 | 講義、発表やグループワークにおいて真摯に耳を傾け、相手の考えを理解しようとすることができる。 |
| | 柔軟性 | グループワークにおいて、自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。 |
| | 状況把握力 | |
| | 規律性 | 授業でのマナーを守り、周囲に迷惑をかけないような配慮ができる。 |
| | ストレスコントロール力 | |

テキスト及び参考文献

テキスト：文部科学省 「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 生活編」 東洋館出版社、2018年
NHK学校放送「おばけの学校たんけんだん」
参考文献や資料は適宜紹介、配布する。

他科目との関連、資格との関連

本科目は学科専門科目の教科及び教科の指導法に関する科目である。生活科の目標や内容について理解した上で、具体的な学習活動の展開や指導方法、評価の仕方に関する技能の基礎を身に付けるものである。
関連資格 保育士、幼稚園教諭、小学校教諭

| 学修上の助言 | 受講生とのルール |
|---|---|
| 特別課題に対して、自分の関心を大事に、計画的に取り組ましましょう。必要な材料や用具は自分で用意してください。2つの特別課題の提出は必須です。たとえ遅れてでも提出されない場合、この科目の単位は取得できません。 | ・授業中、携帯やスマートフォンはかばんの中にしまい、電源を切るかマナーモードにしておいてください。 |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | | |
|-----------------------|--------------|--------------------|-------|------|-------------------------------------|-------------------------|---|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 0 | ① | | | |
| | | | | ② | | | |
| | | | | ③ | | | |
| | | | | ④ | | | |
| | | | | | | | |
| | 平常評価 | 小テスト | | 30 | ① | ✓ | 学習指導要領に示されている指導計画の作成及び学習指導、評価のポイントや、合科的・関連的指導及びスタートカリキュラムの在り方に関する小テストを行う。 |
| | | | | | ② | | |
| | | | | | ③ | | |
| | | | | | ④ | | |
| | | | | | | | |
| レポート | | | 40 | ① | | 特別課題「秋見つけ」10%、最終レポート30% | |
| | | | | ② | ✓ | | |
| | | | | ③ | ✓ | | |
| | | | | ④ | | | |
| | | | | | | | |
| 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | | 20 | ① | | 特別課題「動くおもちゃ作り」20% | | |
| | | | ② | | | | |
| | | | ③ | ✓ | | | |
| | | | ④ | | | | |
| | | | | | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | 10 | ① | | 授業後のふり返りにて到達レベルについて自己評価を行い、それを総括する。 | | |
| | | | ② | | | | |
| | | | ③ | | | | |
| | | | ④ | ✓ | | | |
| | | | | | | | |
| 総合評価割合 | | 100 | | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|---|---|
| <p>①第11回で行う小テスト：90%以上S、80%以上A</p> <p>②最終レポート：「あなたが生活科の学習指導を行う上で大切にしたいことは何ですか」という課題について、具体例をあげ、こどもに身に付けたい力と関連させて述べることであればA。さらに学習指導要領の趣旨も含めるなど顕著に優れている点があればS。</p> <p>③特別課題の制作物：2つの特別課題において、自分の考えや工夫を表現できていればA、さらにその中で顕著な工夫が見られるものがあればS</p> <p>④グループワークの参加度：他者の意見を傾聴し、常に積極的に自分の意見を発信委、かつグループ内の意見を集約できればS、他者の意見をふまえて自分の意見を発信できればA</p> | <p>①第11回で行う小テスト：70%以上B、60%以上C</p> <p>②最終レポート：「あなたが生活科の学習指導を行う上で大切にしたいことは何ですか」という課題について、具体例をあげるか、こどもに身に付けたい力と関連させて述べることであればB。大切にしたいことが書かれていればC。</p> <p>③特別課題の制作物：2つの特別課題のうち、1つでも自分の考えや工夫を表現できればB、提出されていればC。</p> <p>④グループワークの参加度：自分の意見を発信できればB、他者の意見を傾聴できればC。</p> |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|--|---------------------------------|---|---|-------|--|
| 1 | ・オリエンテーションを受け、この科目の進め方について知る。 ・テキストの精読を通して、生活科の教科目標の趣旨や内容構成について理解する。 | 講義・質疑応答 | 生活科の教科目標の趣旨や内容構成のポイントテキストから読み取ることができる。 | (予習) 昨年度に学修した、生活科の目標や内容について思い起こす。 (復習) 生活科の教科目標の趣旨や内容構成のポイントについてノートにまとめる。 | 180 | 主体性 傾聴力 規律性 |
| 2 | テキストの精読を通して、生活科の指導計画の作成や評価での配慮事項について理解する。 | 講義・質疑応答 | 生活科の指導計画の作成や評価での配慮事項のポイントをテキストから読み取ることができる。 | (予習) テキストを読んでおく (復習) 生活科の指導計画の作成や評価での配慮事項について自分がとくに大切にしたいポイントについてノートにまとめる。 | 180 | 主体性 傾聴力 規律性 |
| 3 | テキストの精読を通して、生活科の学習指導の特質・学習の進め方について理解する。 | 講義・質疑応答 | 生活科の学習指導の特質、学習の進め方のポイントをテキストから読み取ることができる。 | (予習) テキストを読んでおく (復習) 生活科の学習指導の特質、学習の進め方について自分がとくに大切にしたいポイントについてノートにまとめる。 | 180 | 主体性 傾聴力 規律性 |
| 4 | 「学校探検」について(1) ・授業実践の動画や教科書、単元構想案、学習指導案を見て単元の概要を知る。 ・求められるそれぞれの資質・能力が、こどものどのような姿として現れるのかについて分析する。 | 講義・質疑応答 動画視聴・グループワーク | こどもの姿の現れについて1つ以上、見つけることができる。 | (予習) テキストを読んでおく。 (復習) 資料(単元構想案・学習指導案)をさらに読んでおく。 | 180 | 主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 |
| 5 | 「学校探検」について(2) ・前時に分析したことを発表し、検討する。 | 発表・質疑応答 | 分析したこどもの姿を聞きながら、「学校探検」の学習指導で自分が大切にしたいことについて1つ以上見つけることができる。 | (予習) 資料(単元構想案・学習指導案)をさらに読んでおく。 (復習) 「学校探検」の学習指導で大切にしたいことをノートにまとめる。 | 180 | 主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 |
| 6 | テキストの精読や資料を通して、合科的・関連的指導やスタートカリキュラムのあり方について理解する。 | 講義・質疑応答 | ・生活科における合科的・関連的指導やスタートカリキュラムのあり方についてテキストから読み取ることができる。 | (予習) テキストを読んでおく。 (復習) 生活科における合科的・関連的指導やスタートカリキュラムにおいて自分がとくに大切にしたいポイントについてノートにまとめる。 | 180 | 主体性 傾聴力 規律性 |
| 7 | ・テキストの精読や授業実践の動画視聴を通して、内容(6)「自然や物を使った遊び」のうち、自然を使った遊びに関するねらいと内容を理解する。 ・特別課題「秋見つけ」に取り組む。 | 講義(オンデマンド) 動画視聴 特別課題に取り組む | ・内容(6)のうち、自然を使った遊びに関するねらいと内容のポイントをテキストや授業実践の動画から読み取ることができる。 ・発表へ向けて必要な情報を集め、レポートを作成し、準備を進めることができる。 | (予習) テキストを読んでおく。特別課題に対し、自分の発表に必要な情報は何かを判断する。 (復習) 特別課題で必要な情報を得ることができたか、次に行うことは何かを判断し、行動する。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性 |
| 8 | ・見つけた秋について発表する。 ・テキストの精読を通して、内容(5)「季節の変化と生活」のねらいと内容について理解する。 ・授業実践の動画を視聴し、こどもの学びについて分析する。 | 発表 講義・質疑応答 動画視聴・グループワーク | ・見つけた秋について発表することができる。 ・内容(5)のねらいと内容のポイントをテキストから読み取ることができる。 ・授業実践の分析を通して、その学習活動がこどものどのような資質・能力を育成しているのかについて自分の考えをもつことができる。 | (予習) テキストを読んでおく。見つけた秋について発表できるように準備しておく。 (復習) 授業で学んだことをふまえ、自分の考えをノートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|--|-------------------------|--|---|-------|--|
| 9 | 「まち探検」について(1) ・授業実践の動画や教科書、単元構想案、学習指導案を見て単元の概要を知る。 ・求められるそれぞれの資質・能力が、こどものどのような姿として現れるのかについて分析する。 | 講義・質疑応答 動画視聴・グループワーク | こどもの姿の現れについて1つ以上、見つけることができる。 | (予習) テキストを読んでおく。 (復習) 資料(単元構想案・学習指導案)をさらに読んでおく。 | 180 | 主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 |
| 10 | 「まち探検」について(2) ・前時に分析したことを発表し、検討する。 | 発表・質疑応答 | 分析したこどもの姿を聞きながら、「学校探検」の学習指導で自分が大切にしたいことについて1つ以上見つけることができる。 | (予習) 資料(単元構想案・学習指導案)をさらに読んでおく。 (復習) 「まち探検」の学習指導で大切にしたいことをノートにまとめる。 | 180 | 主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 |
| 11 | ・生活科での指導計画の作成や評価での配慮事項、学習指導の特質・学習の進め方、合科的・関連的指導及びスタートカリキュラムのあり方について小テストを行う。 ・特別課題「動くおもちゃ作り」について知る。 | 小テスト 課題設定 | ・生活科での指導計画の作成や評価での配慮事項、学習指導の特質・学習の進め方、合科的・関連的指導及びスタートカリキュラムのあり方について小テストで60%以上正答することができる。 | (予習) 第1回～第3回の授業内容をふりかえっておく。 ・授業実践資料を読んでおく (復習) 必要な情報や材料を準備し、おもちゃ作りを進める。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 規律性 |
| 12 | 「おもちゃ作り」について(1) ・授業実践の動画や教科書、単元構想案、学習指導案を見て単元の概要を知る。 ・求められるそれぞれの資質・能力が、こどものどのような姿として現れるのかについて分析する。 | 講義・質疑応答 動画視聴・グループワーク | こどもの姿の現れについて1つ以上、見つけることができる。 | (予習) テキストを読んでおく。 (復習) 資料(単元構想案・学習指導案)をさらに読んでおく。 | 180 | 主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 |
| 13 | 「まち探検」について(2) ・前時に分析したことを発表し、検討する。 | 発表・質疑応答 | 分析したこどもの姿を聞きながら、「学校探検」の学習指導で自分が大切にしたいことについて1つ以上見つけることができる。 | (予習) 資料(単元構想案・学習指導案)をさらに読んでおく。 (復習) 「おもちゃ作り」の学習指導で大切にしたいことをノートにまとめる。 | 180 | 主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 |
| 14 | ・動くおもちゃの発表をする。 ・身の回りのものを使った簡単なおもちゃを作る。 | 発表・質疑応答 工作 | ・動くおもちゃを発表することができる。 ・他者の作品や工夫のよさを見つけたり、自分の作品や工夫のよさを感じたりすることができる。 ・身の回りのものを使った簡単なおもちゃを作ることができる。 | (予習) 動くおもちゃを完成させるとともに、発表できるように準備をする。 (復習) これからも身の回りのものを使って簡単なおもちゃを作ってみようとする。 | 180 | 主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 |
| 15 | ・講義を通して評価規準の重要性について知る。 ・これまでの生活科の学習指導において自分がとくに大切にしたいことについて、まとめのレポートを作成する。 | 講義(オンデマンド) 最終レポート作成 | 生活科の学習指導で自分が大切にしたいことについて述べることができる。 | (予習) ノートを読み返し、これまでの授業内容をふりかえっておく。 (復習) これまでの授業で学んだことをもとに、まとめのレポートを作成し、提出する。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力